

「キャンパスマスタープラン2020」によせて

富山大学は、9学部（人文・人間発達科学・経済・理・工・医・薬・芸術文化・都市デザイン）に附属病院、和漢医薬学総合研究所を加えた11の教育・研究施設に、9,000名余の学生と2,200名余の教職員が集う全国有数の総合国立大学です。

大学を取り巻く国内外の環境は大きく変化しています。我が国は今、超スマート社会Society5.0を目指し、情報をいかに系統的に活用し、社会に役立てるかを考える時代に入っています。そこでは文系や理系、医薬系の学問が連携・融合した新しい「知」の創造が求められています。このような時代の変化に対応し、富山大学を発展させていくために、学生や教員同士のネットワークをこれまで以上に強化し、地域と、さらに海外とのネットワークを充実させることで、Society5.0時代に活躍できる人材を育成したいと考えています。また、カーボンニュートラルやリサイクルにも貢献できる人材を育てたいと考えています。

私は、H31（2019）年4月から富山大学の学長に就任いたしました。私の掲げたスローガンは「魅力溢れる『おもしろい』大学」です。

私の目指すビジョンのひとつとして、新しい情報社会で活躍できる人材を育てるため、令和2年度からデータサイエンス教育を必須といたしました。文系、理系を問わず全ての学生が、それぞれの分野に応じた実践的な数理・データサイエンス能力を身につけられることを目指し、成果を上げています。

これから迎える2021年度は第3期中期目標期間の最終年度です。これまでの6年間を振り返り、第4期中期目標として新たな目標を掲げ、取り組んでいく必要があります。施設整備においても、ICTへの対応や衛生対策を十分に講じるとともに、大学改革に柔軟に対応し得る学修スペースを提供し、学生にとって快適な環境を提供していくことが重要です。

「キャンパスマスタープラン2020」は、本学キャンパスの整備と運営を、より望ましい形で推進するため、現状分析をもとに必要な検討課題と方針をまとめたものです。

このプランをもとに各施設の必要度・優先度・緊急度・健全度等を評価し、計画的な整備と運営を実施していく体制を整え、「夢があり個性きらめくキャンパスづくり」を着実に進めたいと考えております。

富山大学は、教育・研究・社会活動を通じ、地域の発展と課題解決に積極的に取り組むとともに、魅力溢れる『おもしろい』大学を目指し、未来に向けて挑戦していきます。

本学で日々研鑽を積み、知識を深めている学生たちも、ここで培った「知と経験」をもって、一つの分野にとどまらず、分野を超えた新しい学問への挑戦を続け、新時代に活躍されることを願ってやみません。

今後とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和3年3月

国立大学法人富山大学長
齋藤 滋



目次 Table of Contents			Term
00	はじめに –Introduction–	1	
I.アカデミックプランとキャンパスマスタープラン		2	
01	アカデミックプラン	3	
02	中期目標・中期計画	4	
03	国立大学の施設整備に係わる国の施策	6	
04	キャンパスマスタープランの位置づけと実施体制	7	
05	科学技術基本計画と国立大学法人等の施設整備施策	9	Long-Term 2036年～ (R18年～)
II.キャンパスの将来像		12	
06	基本方針	13	
07	キャンパス整備の目標（五福・杉谷・高岡キャンパス）	13	
08	キャンパス全体を「イノベーション・commons（共創拠点）」へ	17	
09	フレームワークプラン	21	
10	「夢があり個性きらめくキャンパスづくり」にむけて	24	Near-Term 2021年～2024年 (R3年～R6年)
III. アクションプラン		27	
11	アクションプランのTerm	28	
12	施設整備計画	28	
13	施設マネジメントの推進	32	
14	省エネルギーの推進	42	Mid-Term 2025年～2035年 (R7年～R17年)
IV.項目別計画		47	
15	項目別計画について	48	
16	土地利用，ゾーニング計画	48	
17	ランドスケープ計画	51	
18	オープンスペース，パブリックスペース計画	52	
19	交通，動線計画	54	
20	デザインガイドライン計画	58	
21	サイン，アート計画	59	
22	ユニバーサルデザイン計画	60	
23	グローバル化・イノベーション創出空間計画	63	
24	災害と安全性を考慮したキャンパス計画	65	
25	環境，サステナビリティ計画（カーボンニュートラルを目指して）	72	
26	キャンパス資源の活用計画	80	
27	基幹設備（ライフライン）計画	83	
28	施設長寿命化計画（総合管理計画）	85	
V. キャンパスの現状と課題		91	
29	キャンパスの基礎データ	92	
30	点検・評価	101	
31	「キャンパスマスタープラン2015」の検証	113	
32	第2次・第3次及び第4次国立大学等施設整備5か年計画における整備建物等	131	
33	キャンパス整備の課題	142	

参考資料		154
参考資料 1	第4次国立大学法人等施設整備5か年計画の検証	155
参考資料 2	第5次国立大学法人等施設整備5か年計画	156
参考資料 3	令和3年度国立大学法人等施設整備事業の選定の考え方	158
参考資料 4	路面電車の延伸に関する富山大学の要望	162
参考資料 5	富山大学にかかわる地震・津波災害とその対策について	163
参考資料 6	原子力緊急事態宣言発出後の体制	170
参考資料 7	耐震性能を表す指標	171
参考資料 8	施設に起因する破綻のシナリオ	172
参考資料 9	施設整備費の推移	173
参考資料10	18歳人口と大学入学者等の推移	173
参考資料11	国立大学法人のうち附属病院を有する総合大学25校の比較	174
	学生数と建物延べ面積	174
	学生及び教員1人当たりの建物延べ面積	175
	男子学生数と女子学生数	175
	留学生数と留学生の比率（留学生／学生数）	176
	教員1人当たりの研究経費及び学生1人当たりの教育経費	176
	土地固定資産と建物固定資産	177
	施設整備補助金と投資活動によるキャッシュフロー	177
参考資料12	富山大学の施設に関するデータ	178
	保有面積と運営費交付金の推移	178
	固定資産と減価償却の累計	178
	Mid-Term（2035（R17）年）までの施設整備の需要の試算	179
	空調機器の更新サイクルによる整備台数の試算	179
	建築物用途別面積と割合	180
	<STEP1>大学全体の過去6年間における延床面積と原油換算量	180
	<STEP1>エネルギー消費原単位と光熱水費	181
	<STEP1>予算対象面積と維持管理費	181
	<STEP1>五福キャンパス（五艘団地含む）の光熱水量支出額と原油換算量	182
	<STEP1>杉谷キャンパスの光熱水量支出額と原油換算量	182
	<STEP1>高岡キャンパスの光熱水量支出額と原油換算量	183
	<STEP1>大学全体の過去6年間における電気・ガス・重油の原油換算量	183
	<STEP1>各団地の過去6年間における電気・ガス・重油の原油換算量	185
	参考資料13	エネルギーマネジメントによる光熱水費削減の取り組み課題
参考資料14	五福キャンパスエネルギー低減策の効果試算	185
参考資料15	ZEB化実証事業	186
参考資料16	環境配慮活動令和3年度計画表（具体的活動・手引き）	187
参考資料17	国立大学法人富山大学施設マネジメント委員会規則	189
参考資料18	国立大学法人富山大学施設の有効活用に関する規則	190
あとがき —Afterword—		192